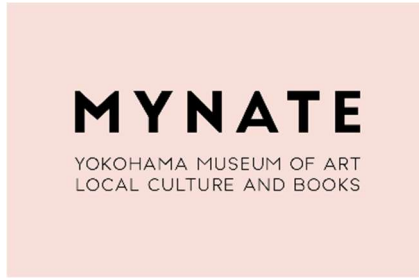


横浜美術館は2024年11月1日(金)より 一部事業を再開します

横浜美術館は、大規模改修工事期間中に外部倉庫で保管していた14,000点を超えるコレクションを館内に搬入蔵置するため休館しておりましたが、11月1日より、一部の事業を再開します。



ギャラリー9 展示風景



ミュージアムショップ ロゴマーク



カフェ 商品イメージ

大規模改修工事により新設されたギャラリー8 とギャラリー9 にて、横浜美術館コレクション展を開催します。また、美術図書室、ミュージアムショップ、カフェがリニューアルオープンします。これらの施設は、より自由でひらかれた無料のエリア、「じゅうエリア」の一部として、みなさまをお迎えします。

さらに、長らくお待たせしておりました子どものアトリエと市民のアトリエの活動も再開します。これらの一部施設オープンにあわせて、アトリエならではのユニークなイベントも実施します。

2025年2月8日の全館オープンに向けて、一足先にリニューアルする美術館をお楽しみいただきたく、ぜひこの機会にお越しください。 ※詳細はプレスリリースをご覧ください。

2024年11月1日から事業を再開する施設一覧

ギャラリー8	横浜美術館コレクション展開催
ギャラリー9	※入場無料(じゅうエリア)
美術図書室	入場無料(じゅうエリア)
ミュージアムショップ「MYNATE」(読み:ミナト) (運営会社:株式会社)	
カフェ「馬車道十番館 横浜美術館 喫茶室」 (運営会社:株式会社横浜十番館)	
子どものアトリエ	活動再開
市民のアトリエ	※詳細は別紙イベント一覧参照
開館時間:10時~18時(入館は閉館の30分前まで) 休館日:木曜日、12/29(日)~2025.1/3(金)	

※レクチャーホール 2025年2月利用分の受付を11月1日より開始します。

※この機会に広くご報道いただければ幸いです。

本件についてのお問合せ先 *本日は17時15分まで在席しております。

横浜美術館【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】	横浜市西区みなとみらい3-4-1	Tel 045-221-0300(代表)
経営管理グループ	担当グループ長	Tel 045-221-0368
	広報担当	Tel 045-221-0319
	熊谷	
	福山、高橋	

Press Release

2024年10月1日



横浜美術館は2024年11月1日（金）より 一部事業を再開します

横浜美術館は、大規模改修工事期間中に外部倉庫で保管していた14,000点を超えるコレクションを館内に搬入蔵置するため休館しておりましたが、11月1日より、一部の事業を再開します。



ギャラリー9 展示風景



ミュージアムショップ ロゴマーク



カフェ 商品イメージ

大規模改修工事により新設されたギャラリー8とギャラリー9にて、横浜美術館コレクション展を開催します。また、美術図書室、ミュージアムショップ、カフェがリニューアルオープンします。これらの施設は、より自由でひらかれた無料のエリア、「じゅうエリア」の一部として、みなさまをお迎えます。

さらに、長らくお待たせしておりました子どものアトリエと市民のアトリエの活動も再開します。これらの一部施設オープンにあわせて、アトリエならではのユニークなイベントも実施します。

2025年2月8日の全館オープンに向けて、一足先にリニューアルする美術館をお楽しみいただきたく、ぜひこの機会にお越しください。 ※詳細は添付資料をご覧ください。

2024年11月1日から事業を再開する施設一覧

ギャラリー8	横浜美術館コレクション展開催
ギャラリー9	※入場無料（じゅうエリア）
美術図書室	入場無料（じゅうエリア）
ミュージアムショップ「MYNATE」（読み：ミナト） （運営会社：株式会社と）	
カフェ「馬車道十番館 横浜美術館 喫茶室」 （運営会社：株式会社横浜十番館）	
子どものアトリエ	活動再開
市民のアトリエ	※イベント添付資料参照
開館時間：10時～18時（入館は閉館の30分前まで） 休館日：木曜日、12/29（日）～2025.1/3（金）	

※レクチャーホール 2025年2月利用分の受付を11月1日より開始します。

お問合せ先 横浜美術館 広報担当（福山、高橋）
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1
TEL：045-221-0319 FAX：045-221-0317 Email：pr-yma@yaf.or.jp

プレス画像申込

横浜美術館



施設詳細

新設

■ギャラリー8 [じゅうエリア=入場無料]

横浜美術館コレクション展

ひっくり返す・ひっくり返る

上下左右を逆転したり、白黒を入れ替えたり、巨大なものを極小に、カチコチのものをふわふわに・・・してしまったら？ 頭のなかがひっくり返って、身の回りのできごとまったく違って見えてくるかもしれません。自分とは異なる考えかた、自分では知らなかったことが、世界には満ちあふれている！という発見、そこから広がる新しい世界観—美術館体験の原点ともいえる驚きや喜びへの誘いとして、なにかをちょっぴり“ひっくり返した”作品たちをご紹介します。



クリスチャン・ヤンコフスキー
《彫刻ヘッド・マッサージ》(「マッサージ・マスターズ」より) 2017年
インクジェット・プリント
101.5 x 152.5 cm
横浜美術館蔵
© Christian Jankowski, Massage Masters, 2017

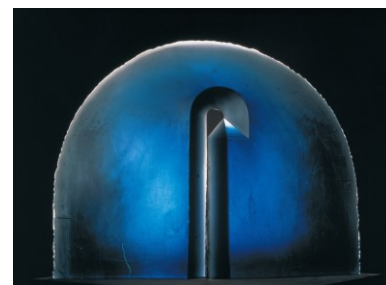
新設

■ギャラリー9 [じゅうエリア=入場無料]

横浜美術館コレクション展

ガラスとひかり

大規模改修で新設したガラス張りの展示室。陽の光が射しこみ、外の景色も見わたせる、開放的な空間に、ガラスのコレクションを並べてみました。自然光を透かした作品の見映えは、横浜美術館の学芸員でさえ、思わず「おお！」と声をあげてしまうほど。朝に、夕べに、展示室の中から、外から、と、ガラスたちはさまざまに表情を変えていくことでしょう。散歩や買い物のついでにふと立ち寄ってみようかなと思います、そんなスポットになれたら嬉しいです。



スタニスラフ・リベンスキー／
ヤロスラヴァ・プリフトヴァ
《アーチ雲》1991年
ガラス、铸造
76.0 x 100.0 x 10.0 cm
横浜美術館蔵

移転・リニューアルオープン

■美術図書室 [じゅうエリア=入場無料]

休館前の「美術情報センター」が地上階へ移り、明るい光がそそぎこむ新しいスペースに生まれ変わります。24万冊を超える国内外の展覧会カタログや専門書、雑誌と映像資料を所蔵し、どなたでも無料でご利用いただけます。

リニューアルオープン

■ミュージアムショップ「MYNATE」 [じゅうエリア=入場無料]

「MY」＝「私(たち)の」と「NATE」＝「生まれる(ラテン語)」を組み合わせた造語で、『ミナト』と読みます。コンセプトは「地域の文化と本のあるお店」です。横浜美術館のオリジナルグッズや、横浜市内で活躍する作家や企業、クリエイターの商品、地域色に富んだ様々な商品をセレクトし、横浜の文化を楽しんでいただけるショップです。展覧会に合わせた商品展開も見逃せません。

運営会社：株式会社と



ミュージアムショップ 商品イメージ

Press Release



リニューアルオープン

■カフェ「馬車道十番館 横浜美術館 喫茶室」 [じゅうエリア=入場無料]

馬車道にある本店と同じケーキやデザート、軽食、ドリンクを味わいながらゆったりと時間を過ごせるカフェです。横浜土産としても人気の「ビスカウト」の販売もあります。一部テイクアウトも可能ですので、屋外のテーブルで公園を眺めながらコーヒーを味わうのもおすすめです。

運営会社：株式会社横浜十番館



カフェ 商品イメージ

活動再開

■子どものアトリエ

未就学児から12歳までの児童を対象とした、体験を通して美術に出会う専門施設。学校のためのプログラム、個人向けの造形や鑑賞のプログラムを開催。主にプレイルーム、クラフトルーム、光と音のスタジオの3部屋と中庭で活動をしています。(活動再開にあたっての一般公開など、イベント詳細は別紙参照)

■市民のアトリエ

12歳以上の方を対象に〈つくる〉ことを通して美術に親しむ専門施設。平面室、立体室、版画室の3室でアーティストやエドューケーターによる様々なプログラムを開催しています。(活動再開にあたっての一般公開など、イベント詳細は別紙参照)

次回企画展 ※2025年2月8日から全館オープンとなります。

横浜美術館リニューアルオープン記念 おかえり、ヨコハマ

2025年2月8日(土) — 6月2日(月)

開港以前にこの地に住んだ人びと。歴史の中で姿が見えづらくなった人びと。この展覧会は、こうした知られざる多様なヨコハマの姿に光を当てます。当館のコレクションを活用し、またアーティストへの新作依頼も行います。タイトルには、約3年の工事休館を経て「横浜美術館が帰ってきた」という意味と、「生きた時代や生まれた地域を問わず、横浜に関わるすべての人を『おかえり』とって迎え入れたい」という願いを込めています。



ルネ・マグリット 《王様の美術館》1966年
油彩、カンヴァス 130.0 × 89.0 cm
横浜美術館蔵

お問合せ先 横浜美術館 広報担当(福山、高橋)
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1
TEL: 045-221-0319 FAX: 045-221-0317 Email: pr-yama@yaf.or.jp

プレス画像申込

横浜美術館

Press Release



教育普及関連イベント一覧

各イベントの申込方法や詳細情報は横浜美術館ウェブサイトをご覧ください。

●活動再開だよ！ぐるりアトリエ見学会

美術と人々をつなぐ創造の場として、1989年の開館より長く親しまれてきた横浜美術館の「子どものアトリエ」「市民のアトリエ」が、大規模改修工事を経て11月より各種プログラムをスタートします。活動再開にあたり、広く皆さまにアトリエを見て、知って、ちょっと体験していただく三日間の一般公開を行います。ご家族やグループで、またお一人でも、お気軽に自由なペースでご覧ください。

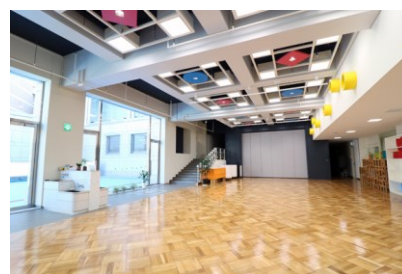
日程：2024年11月1日（金）、2日（土）、3日（日・祝）

時間：各日10時30分～16時

会場：横浜美術館 子どものアトリエ、市民のアトリエ

対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴での入場

参加費：無料、事前申込不要



子どものアトリエ

<見学おすすめポイント>

- ・三日間に限り、どちらのアトリエも見学できます。
- ・アトリエ担当のエducーターが各室の特徴をご紹介します。
- ・アーティストによるデモンストレーションとともに様々な画材や道具をご覧ください。
- ・アトリエならではのフォトスポットやデッサンなどを体験できるコーナーもご用意しています。
- ・公開中は何度でもご見学いただけます。

※詳しい内容やスケジュールは10月中旬公開予定。



日本画の道具

●新しくなった横浜美術館を紹介！「お披露目ガイドツアー」

横浜美術館のエducーターがガイド役となり、じゆうエリア（美術館内の無料エリア）の作品と建物を紹介します。新設された自然光の美しいギャラリーやリニューアルしてアクセスしやすくなった美術図書室、ゆっくりとくつろげるカフェなど、新しくなった横浜美術館をたっぷりご案内します。お気軽にご参加ください。

日程：2024年11月1日（金）、2日（土）、3日（日・祝）

時間：各日10時30分～11時30分、14時～15時

会場：横浜美術館

集合場所：公園口（メインエントランス）前

対象：どなたでも

参加費：無料、事前申込不要



これまでのガイドツアーの様子

撮影：大野隆介

写真提供：横浜トリエンナーレ組織委員会

横浜美術館

Press Release



未就学児から12歳までの幼児・児童が対象 子どものアトリエ プログラム

●みんなのフリーゾーン

子どもたちの「自分でえらぶ」「自分で決める」、そして「自分でつくる」という気持ちを引出し、やってみようという意欲を育むことを目的としたプログラムです。粘土、絵の具、紙を素材に3つのコーナーで自由に創作できます。えがいたりつくったりする体験を通して、自分の新しい感じ方を発見してみよう！

日程：11月	Aコース	2024年11月17日（日）
	Bコース	2024年11月24日（日）
12月	Aコース	2024年12月1日（日）
	Bコース	2024年12月8日（日）
	Cコース	2024年12月15日（日）

※いずれも同内容です。コースを選んでお申込みください。

時間：各日 10時～11時30分

会場：横浜美術館 子どものアトリエ

対象：小学生以下の子どもとその保護者

参加費：ひとり200円（子ども・大人共通料金、当日現金支払い）／要事前申込

定員：各コース30グループ（1グループ5名まで）

※先着順。定員に達し次第、受付を終了します。

申込受付期間：11月	Aコース	2024年10月6日（日）～10月31日（木）
	Bコース	2024年10月13日（日）～10月31日（木）
12月	Aコース	2024年11月3日（日・祝）～11月24日（日）
	Bコース	2024年11月10日（日）～11月24日（日）
	Cコース	2024年11月17日（日）～11月24日（日）

※いずれのコースも10時から受付開始

●はじめての造形あそび

子どものアトリエにはじめて訪れる未就学児に向けたプログラムです。「絵の具」「紙工作」のプログラムを中心に、ゆったりと楽しむことができます。エドゥケーターによるサポートもあるので、はじめての造形あそびも安心！芸術の秋に、アトリエデビューしてみませんか。

日程：11月	Aコース	2024年11月20日（水）
	Bコース	2024年11月27日（水）
12月	Aコース	2024年12月4日（水）
	Bコース	2024年12月11日（水）

※いずれも同内容です。コースを選んでお申込みください。

時間：各日 10時～11時30分

会場：横浜美術館 子どものアトリエ

対象：未就学児とその保護者

参加費：ひとり200円（子ども・大人共通料金、当日現金支払い）／要事前申込



撮影：加藤健



撮影：御厨慎一郎

横浜美術館

Press Release



定員：各コース 20 グループ（1 グループ 5 名まで）※応募者多数の場合は抽選

申込受付期間：11月 Aコース 2024年10月1日（火）～10月17日（木）

Bコース 2024年10月1日（火）～10月24日（木）

12月 Aコース 2024年10月18日（金）～11月4日（月）

Bコース 2024年10月18日（金）～11月11日（月）

12歳以上が対象

市民のアトリエ プログラム

●市民のアトリエ体験ワークショップーテラコッタとシルクスクリーン

市民のアトリエには「立体室」「平面室」「版画室」の特徴的な3つの部屋があります。各室担当エドゥケーターの案内で見学しながら、素焼きの焼き物であるテラコッタ制作とシルクスクリーンの刷りを体験していただきます。

テラコッタ制作では粘土で自由につくったオブジェをアトリエ内の陶芸窯で焼成します。版画の一技法であるシルクスクリーンでは、手描きの絵や文字を小さな布袋に刷ります。3室での体験を通してアトリエでの楽しみ方をぜひ見つけてください。

日程：Aコース 2024年11月23日、12月21日 土曜 [全2回]

Bコース 2024年11月24日、12月22日 日曜 [全2回]

※いずれも同内容です。

時間：各日 13時30分～16時30分

講師：木下貴博、桜庭瑠実、濱野絵美、平松朋子（当館エドゥケーター）

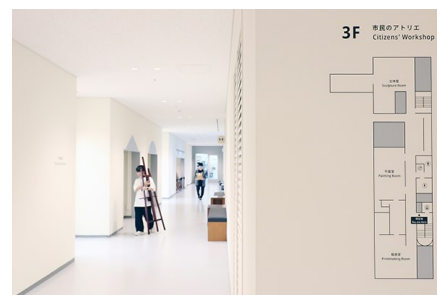
会場：横浜美術館 市民のアトリエ

参加費：ひとり 2,000円（材料費・焼成費込）※事前振込

対象：12歳以上

定員：各コース 16名程度（1組2名までお申込みいただけます。）※応募者多数の場合は抽選

申込受付期間：9月13日（金）～11月5日（火）



市民のアトリエ



テラコッタ制作の様子



シルクスクリーン刷りの様子

お問合せ先 横浜美術館 広報担当（福山、高橋）
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1
TEL：045-221-0319 FAX：045-221-0317 Email：pr-yama@yaf.or.jp

プレス画像申込

横浜美術館